

平成29年度 学力向上アクションプラン

B票

武庫東小

学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国調査の結果から見られる課題 (1) 各教科の状況(全国平均との比較) <ul style="list-style-type: none"> ・国語 A +1ポイント B +3ポイント ・算数 A +2ポイント B +2ポイント ・得点分布に若干二極化が見られる。 ・目的や意図に応じて書く・聞く ローマ字 ・単体量あたり 記述式の問題 (2) 質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・学習への関心・意欲が理解度と比較すると若干低い。 ・地域の行事に参加している児童が少ない。 ○ 児童の学習意欲や学習理解度について、個人差が大きい。 ○ 家庭における学習習慣が身につけておらず、基礎学力に課題がある児童が多い。 ○ 若手教員が多く、授業力の向上を計画的に進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「一人ひとりの自主化をめざして」を研究主題として、国語科を中心とした研究に取り組む。研究を進めるにあたっては、大学教授を招聘し、専門的な見地からの指導・助言をして頂く。 【(1)講師招聘支援を活用】 ○ 全教員が年1回以上研究テーマに基づいた授業公開をするとともに、採用3年未満の教師はそれ以外に2回、10年未満の教員はそれ以外に1回授業公開をする。授業実践を通して全教員で授業力を高め合っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の了解のもと、放課後学習を実施し、基礎学力の向上を図る。【(4)放課後等学習支援を活用】 ○ サマースクール4日間の実施【(4)放課後等学習支援を活用】 ○ ぐらしのカード(生活点検表)を作成し、家庭との連携を図る。【(5)学力定着支援を活用】 ○ 朝読による読書力の向上、昼学による計算力・漢字力の向上に取り組む。【(5)学力定着支援を活用】 ○ 各学年に応じた宿題の量の統一・徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTの活用等、授業を創意工夫することで授業力向上・学力向上を図る。 ○ 各学年に応じた話す・聞くスキルを設定し、対話的な学びを促進する。 ○ 月1回 図書ボランティアによる読み聞かせやお話配達を実施することで、子ども達に本の魅力を実感させるとともに、読書への関心・意欲を高める。 ○ 読書記録ノートを作成し、読書の足跡を残すと共に、今後の読書活動への励みとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習調査 (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平均正解率(全国+5ポイント以上) (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「授業がよくわかる/わかる」(85%以上) ・「平日1日あたりの家庭学習時間が30分以下」(13%以下) ○ 朝、昼の学習タイムの徹底 ○ 「学習の約束10項目」を全学年・全学級で徹底していく。

校種間連携	活用する支援内容	家庭・地域との連携								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度から実施している中学校区で共通した「学習のきまり」を徹底していく。 ○ 兵庫型教科担任制を活用し、中学校への円滑な接続、及び個に応じた多様な教育を推進する。 ○ 中学校と連携し、外国語活動・英語を中心に指導の円滑な接続を具体的に進める。 ○ クラブ体験や、生徒会訪問による挨拶運動 ○ 出前授業や異校種交流研修等を通じて教員の授業交流を行う。 ○ 入学前テストを中学校で実施する。 ○ キャリアノートの取り扱いについて検討を小中で進める。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)講師招聘支援</td> <td>○ 国語科を中心とした自ら学ぶ授業づくり(京都教育大学 植山教授他 計4回)</td> </tr> <tr> <td>(4)放課後等学習支援</td> <td>○ 放課後学習 2h×25週×2人 ○ 夏季休業期間 2h×5日×2人</td> </tr> <tr> <td>(5)学力定着支援</td> <td>○ 「ぐらしのカード」作成 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 学習支援に係る書籍代</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	具体的内容	(1)講師招聘支援	○ 国語科を中心とした自ら学ぶ授業づくり(京都教育大学 植山教授他 計4回)	(4)放課後等学習支援	○ 放課後学習 2h×25週×2人 ○ 夏季休業期間 2h×5日×2人	(5)学力定着支援	○ 「ぐらしのカード」作成 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 学習支援に係る書籍代	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うち読」の推進による貸し出し冊数の増加と読書力の向上 ○ 「ぐらしのカード」(生活点検表)の活用による学習習慣の定着 ○ 学力調査結果の公表 ○ オープンスクールの実施 ○ 学校支援ボランティアとの連携 ○ 年2回の保護者アンケートの実施と学校評価の結果公表 ○ 学校通信を地域へ配布・HP上で公開 ○ 育友会と学校との連携の強化
支援内容	具体的内容									
(1)講師招聘支援	○ 国語科を中心とした自ら学ぶ授業づくり(京都教育大学 植山教授他 計4回)									
(4)放課後等学習支援	○ 放課後学習 2h×25週×2人 ○ 夏季休業期間 2h×5日×2人									
(5)学力定着支援	○ 「ぐらしのカード」作成 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 学習支援に係る書籍代									